

記者発表資料
平成25年10月21日
農林水産部農産園芸環境課
園芸振興班 高澤・本多 内線2843
環境対策班 堀内 内線2845

平成25年産秋そばの放射性物質測定結果について（第2報）

宮城県内で採取した秋そばについて、放射性物質検査の測定結果が出ましたのでお知らせします。
記

1 測定年月日

平成25年10月18日

2 測定分析機関

一般財団法人 材料科学技術振興財団
分析機器 ゲルマニウム半導体検出器

3 測定結果

測定した3点の全てにおいて、食品衛生法の規定に基づく放射性物質の基準値（100ベクレル/kg）以下であり、安全性に問題がないことが確認されました。

この結果により、以下の旧町村で生産された平成25年産秋そばは通常どおり出荷、販売等が可能となります。

測定結果の詳細については別紙のとおりです。

【平成25年産秋そばの出荷、販売等が可能となった旧町村】

市町村	出荷・販売等が可能となった旧町村	検査が終了していない旧町村
川崎町	旧川崎町	旧富岡村
登米市	旧登米町、旧豊里町	旧佐沼村、旧北方村、旧新田村、旧錦織村、旧米谷村

4 検査状況

① 検査済点数

検査点数 (計画)	検査済 点数	不検出～		
		50Bq/kg以下	50Bq/kg超～ 100Bq/kg以下	100Bq/kg 超
321	4	4	0	0

※1 検査点数(計画)は、全量全袋検査の検査点数を除いたものである。

※2 検査点数は今後の収穫状況などにより変更あり。

② 検査終了した市町村数

検査対象 市町村数 (旧町村数)	検査終了 市町村数 (旧町村数)	一部解除済み 市町村数 (旧町村数)	検査未終了 市町村数 (旧町村数)
25 (89)	1 (1)	2 (3)	22 (85)

※旧町村数に全量全袋検査を実施する旧町村は含まれない。

【参考：平成25年産秋そばの出荷自粛解除の状況】

(1) 現市町村単位で出荷自粛解除済み

地区名	現市町村名 (旧町村数)
大河原	七ヶ宿町(1)
計	1市町村 (1旧町村)

(2) 旧町村単位で出荷自粛解除済み

現市町村名 (旧町村数)	出荷解除した旧町村
川崎町 (2)	旧川崎町
登米市 (7)	旧登米町、旧豊里町
計2市町村	計3旧町村

※太字は今回公表分です。

【参考】

○秋そばの放射性物質調査に関する基本的な考え方

(1) 平成24年産検査で100Bq/kgを超える放射性セシウムが検出された旧市町村：全量全袋検査

(2) 平成24年産検査で50Bq/kgを超える放射性セシウムが検出された旧市町村及びその隣接旧市町村
：旧市町村毎に全戸相当検査（平均作付面積毎に検査点数を設定）

(3) (2)の対象区域となる旧市町村以外の地域で24年産検査において全戸検査密度で検査を行った地
域：旧市町村毎に3点を検査

(4) その他の旧市町村：旧市町村毎に1点を検査

※放射性セシウム濃度が基準値100Bq/kgを超えた場合は、地域的広がりを確認し、再度基準値を超過した場合に旧市町村単位で出荷制限となる。

平成25年産秋そばの放射性物質測定結果

平成25年10月18日

分析機関:財団法人 材料科学技術振興財団

(単位:ベクレル/kg)

NO	採取場所	採取日	放射性セシウム			
	市町村名(旧市町村等)		セシウム 134 (検出下限値)	セシウム 137 (検出下限値)	セシウム 合計 (検出下限値)	食品衛生法の規 定に基づく放射 性物質の基準値
1	川崎町(旧川崎町)	H25.10.16	不検出 (5.0)	不検出 (5.9)	不検出 (11)	100
2	登米市(旧登米町)	H25.10.16	5.7 (4.4)	10 (5.9)	16 (10)	
3	登米市(旧豊里町)	H25.10.16	不検出 (5.1)	不検出 (6.0)	不検出 (11)	

※()内の旧市町村等は昭和25年時点の旧市町村名を示す。

※「不検出」とは、放射性物質の濃度が、検出下限値に満たない(検出下限値未満である)ことを指す。

また、「検出下限値」とは、当該測定機器で検出できる放射性物質濃度の最小の値を指し、測定毎に異なる。